

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【公開番号】特開2018-82971(P2018-82971A)

【公開日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2018-020

【出願番号】特願2016-228729(P2016-228729)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 0 4 D
A 6 3 F	7/02	3 2 6 Z
A 6 3 F	7/02	3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月5日(2018.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電気部品を制御するための制御手段と、

前記制御手段からのシリアル通信方式による制御信号に応じて、電気部品を駆動させるための特定信号を出力する出力手段とを備え、

前記出力手段は、複数の異なるグループにグループ化された特定信号出力部からパラレル通信方式による特定信号を出力し、

前記特定信号出力部からの特定信号の出力タイミングは、グループごとに異なり、

複数の発光素子を含む発光手段は、前記出力手段の同一グループの前記特定信号出力部から出力される特定信号にもとづいて発光制御され、

前記出力手段は、制御信号を入力してから所定期間経過後に特定信号の出力を停止する停止機能を有する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(手段A) 上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、電気部品を制御するための制御手段と、前記制御手段からのシリアル通信方式による制御信号に応じて、電気部品を駆動させるための特定信号を出力する出力手段とを備え、前記出力手段は、複数の異なるグループにグループ化された特定信号出力部からパラレル通信方式による特定信号を出力し、前記特定信号出力部からの特定信号の出力タイミングは、グループごとに異なり、複数の発光素子を含む発光手段は、前記出力手段の同一グループの前記特定信号出力部から出力される特定信号にもとづいて発光制御され、前記出力手段は、制御信号を入力してから所定期間経過後に特定信号の出力を停止する停止機能を有することを特徴とする遊技機。

(手段1) 本発明による他の遊技機は、電気部品(例えば、盤側LED9d, 9eや天枠

L E D 9 a、左枠 L E D 9 b、右枠 L E D 9 c、可動部 3 0 2 を回動させるための第 1 演出用モータ 3 0 3、可動部材 3 2 1 をスライドさせるための第 2 演出用モータ 3 3 0) を制御するための制御手段(例えば、演出制御用 C P U 1 2 0)と、制御手段からのシリアル通信方式による制御信号に応じて、電気部品を駆動させるための特定信号(例えば、各ドライブ出力端子 Q 0 ~ Q 2 3 , Q 0 ~ Q 1 1 からの出力信号)を出力する出力手段(例えば、発光体ドライバ 4 1 1 a , 4 1 1 b、モータ駆動ドライバ 4 1 2、発光体ドライバ 4 1 3 a ~ 4 1 3 c)とを備え、出力手段は、複数の異なるグループにグループ化された特定信号出力部からパラレル通信方式による特定信号を出力し、特定信号出力部からの特定信号の出力タイミングは、グループごとに異なり(例えば、図 9 に示すように、ドライバ出力端子 Q 0 ~ Q 2 3 , Q 0 ~ Q 1 1 からの出力信号の出力タイミングがグループごとに分散されている)、複数の発光素子を含む発光手段は、出力手段の同一グループの特定信号出力部から出力される特定信号にもとづいて発光制御される(例えば、図 17 に示す変形例 5 のように、同じフルカラー L E D に入力される信号に関しては、同じグループに属するドライブ出力端子に接続される)ことを特徴とする。そのような構成によれば、遊技機外部に対する電波放射を抑制しつつ、複数の発光素子を含む発光手段の発光タイミングのずれを抑制することができる。